

広島県LINE公式アカウント「わが家の避難計画」を設定して災害に備えましょう。

平時  
自宅周辺の災害リスク、避難場所を住所情報だけで自動表示



災害時  
お住まいの地区の避難情報や避難場所をひと目で確認できる



地震・津波の情報やお住まいの地区の避難情報をお知らせ



設定方法

## まずは県LINE公式アカウントを友だち追加

設定はコチラから



広島県LINE公式アカウント



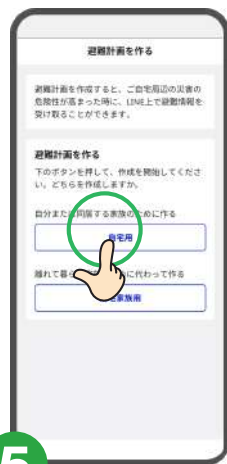
1 広島県LINE公式アカウントを友だち追加



2 「防災メニュー」をタップ



3 「作る」をタップ



4 「自宅用」を選択  
※離れて暮らす家族用に代理で作る場合は「別宅家族用」を選択

## 設定は簡単3ステップ



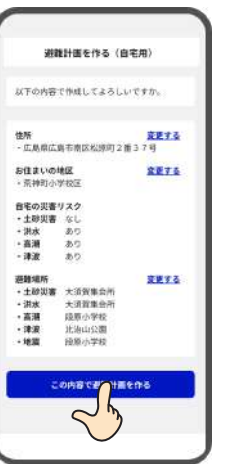
1 住所入力



2 地図で確認



3 設問に答える

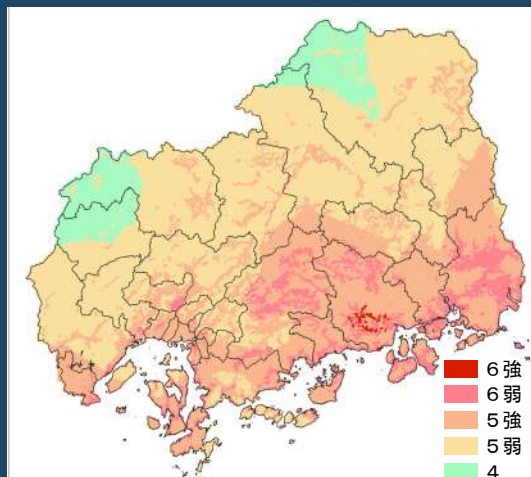


設定完了



# 南海トラフ巨大地震 広島県の被害想定調査結果のご報告

12年ぶりに地震被害想定調査を行い、最新の結果が判明しました。



南海トラフ巨大地震の震度分布【令和7年広島県想定】

南海トラフ巨大地震が発生すると、大きな被害が想定されています。

最大震度 **6強**

建物被害 (全壊焼失) 最大 **9万棟**

津波最高水位 **4m**

死者数最大 **1万4千人**  
うち津波による死者数 **1万3千人**

※津波からの早期避難率が低い場合



←詳しい地震の被害についてはこちらをご覧ください。

地震・津波のVR動画で疑似体験して、災害について知りましょう→



一人ひとりが地震への対策を行うことで被害は軽減することができます。命を守るために、日頃から備えておきましょう。

## 地震の揺れ・津波から命を守りましょう

地震が発生したら、身の安全を守る！ 低い姿勢・頭や体を守って・じっとする



### ●屋内にいる場合

大きな揺れを感じたら、まず揺れによる落下物から頭を守る。丈夫な机やテーブルなどに身をかくし、揺れがおさまるまで待つ。揺れを感じたら台所やストーブなどの火をすばやく消す。ただし、無理に消そうとすると、かえって自分の身が危険になるため、あまり無理をせず、揺れがおさまってから火を消す。

### ●外出している場合

建物の近くにいると、看板や壁、さらには窓ガラスが落ちてくる恐れがある。壊れやすいものや倒れやすいものから離れ、バッグやカバンなどで頭を保護する。

## 津波の恐れがあるときは、安全な高い場所へ



●海辺や川沿いから離れ、"遠く"ではなく、すぐに"より高い"安全な場所へ避難。高台のほか、丈夫な高い建物へ避難。津波の避難場所を確認しておきましょう。

●渋滞に巻き込まれ逃げ遅れる恐れがあるため、原則徒歩で避難。

●津波は繰り返し襲ってくる恐れがあるため、津波警報等が解除されるまでは、絶対に戻らない。



## 地震の揺れがおさまったら

### 揺れがおさまったら

- ・閉じ込められないように、出入り口を確保
- ・落ち着いて火の元を確認する
- ・転倒・落下した家具類や ガラスの破片等に注意



まずは周囲を確認して、身の安全を確保しましょう。  
落ち着いて行動することを心がけましょう。

### 正確な情報把握・避難の判断

- ・大きな地震が発生したあとは、うわさやデマ情報が多く流れる恐れがある。ラジオやテレビ、防災無線などから、最新の正確な情報を入手する。
- ・自宅や身の周辺に危険が迫っていると判断した場合は、ためらうことなく避難。



自宅から離れる時は、電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めましょう。

## 地震・津波に日頃から備えておきましょう

### あわてず行動できるように家族と話し合おう

地震が発生したとき家族があわてず行動できるよう、いざというときに備えて日頃から家族と話し合っておきましょう。

- ☐ 市町のハザードマップで地域の災害リスクを確認
- ☐ 避難場所・避難経路の確認
- ☐ 避難するとき、持ち出す物と、誰が何をもち出すか役割分担
- ☐ 家族がバラバラに離れているときの行動と連絡手段
- ☐ 家族との待ち合わせ場所



### 地域の災害リスクを確認

- ・各市町が作成しているハザードマップで、自宅のほか、学校、職場周辺などよく行く場所の周辺で、どのような災害が起こると想定されているか確認。
- ・地震のほか、火災・水害などが発生することを想定し、複数の避難場所と経路を確認。

### 待ち合わせ場所の確認

- ・家族と離れた場所で被災した時に、待ち合わせ場所を共有しておくことで早く会える確率が高まる。避難所や近隣など自宅以外でも決めておく。

## 広島県公式LINEアカウントで手軽に防災対策しましょう！

- 自宅周辺の避難場所を簡単に確認
- 地震・津波・避難情報などをLINEでお知らせ

簡単設定 無料

詳しくは最終面へ

### 家族との連絡手段を確認

- ・災害発生直後は電話が通じにくくなる恐れがあるため、電話のほか、災害用伝言ダイヤル(171)、災害用伝言板(web171)、SNSなど複数の連絡手段を決めておく。

### 災害時の帰宅困難に備えて

- ・大規模災害後は、公共交通機関の運行停止などに伴い、外出先にいる人は帰宅が困難になることが予想される。多くの人が一斉に帰宅を始めた、駅周辺では大混雑が発生するおそれがある。
- ・職場、学校、一時滞在施設などに留まることも家族と話し合っておく。

## 家屋の倒壊や家具類の転倒からあなたと家族の命を守るために

### 住まいの耐震化

住んでいる家の強さを知ろう！  
(昭和56(1981)年5月以前の住宅)



耐震性能がないと、震度5強でも建築物は倒壊する可能性がある。

住宅が倒壊すると、命の危険があるだけでなく、津波や火災等からの避難ができなくなる恐れがある。

住宅耐震化の補助制度をご活用ください。

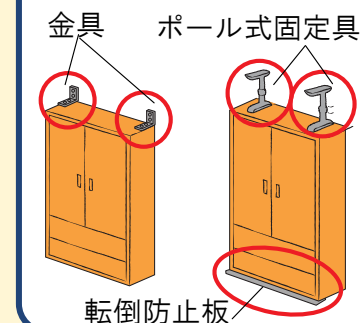


詳しくはこちら

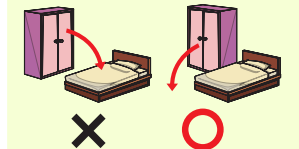
### 家具類の転倒防止対策

建物が無事でも、家具の転倒により下敷きになって怪我をしたり、逃げ遅れに繋がる恐れがある。

寝る場所、よくいる場所、避難の経路・出入口付近の家具類を固定・倒れそうな家具を減らしましょう。



家具の転倒方向を考え、安全が確保できる配置にすることも有効



## 助かった命をつなげるために

### 健康を維持する

災害時にライフライン(電気・水道・ガス・通信)が断絶すると日常生活に制限がかかる。体調を崩さないよう、食品・生活環境の衛生、感染症の予防、口腔ケア、暑さ・寒さなどに注意。アレルギーのある人、疾患のある人、高齢の方、妊産婦などにあわせて必要な物を準備する。



チェックしてみましょう

### 非常時持出品・備蓄品



防災グッズ一覧↑

【ポイント】最低3日分、できれば1週間分の水・食料、簡易トイレ等の生活必需品の備蓄が必要です。

飲料水 (3日分以上)	食料 (3日分以上)	簡易トイレ	懐中電灯	ラジオ	軍手
ホイッスル	救急箱・常備薬	下着・靴下・衣類	予備の電池	衛生・感染症対策	ティッシュ・タオル
ポリ袋	防寒着・毛布・アルミシート	熱中症対策	モバイルバッテリー	カセットコンロ	歯ブラシ・マウスウォッシュ

## + 家族構成や世帯事情に応じて、追加で必要な物を備えましょう

乳幼児・妊産婦	女性	高齢者	疾患のある方	ペット	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>離乳食</li> <li>粉ミルク・液体ミルク</li> <li>おむつ・おしりふき</li> <li>母子健康手帳</li> <li>妊産婦用衣類</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生理用品</li> <li>サニタリーショーツ</li> <li>中身の見えないゴミ袋</li> <li>防犯ブザー</li> <li>女性用下着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入れ歯・洗浄液</li> <li>介護食</li> <li>大人用おむつ</li> <li>杖</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主治医連絡先</li> <li>持病薬</li> <li>お薬手帳</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペットフード・水</li> <li>キャリーバッグ・ケージ</li> <li>リード</li> <li>トイレ用品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メガネ</li> <li>コンタクトレンズ</li> <li>補聴器</li> <li>アレルギー対応品</li> <li>宗教上の理由で必要な物</li> </ul>